



## 市長は統一協会への調査を進めるべき

京都市の関連事業にボランティアとして登録団体となっていた

10月20日に開かれた市長総括質疑において、市長・副市長に対して、わが党のやまね議員が京都市と統一協会の関係について質問しました。まず、統一協会の本質を統一協会が単なる宗教団体でないことは論を待ちません。靈感商法、高額献金の強要、人権無視の集団結婚、洗脳、そして宗教であることを隠しての勧誘など、数々の違法行為、問題をくり返し、巨額の金銭被害、家庭崩壊、DVや虐待など生み出してきた反社会的なカルト集団であります。にもかかわらず、政治家や行政が関わりを持ってきたことが、この反社会的団体に「お墨付き」を与えることになってしまった。」と質問しました。

次に、各政令市の市長が次々と統一協会と関わらない宣言や全面的な調査を言明したことを紹介。門川市長にも統一協会との関係を持たない宣言をするべきだと迫りました。市長は「旧統一協会、いま岡田副市長から答弁しましたように、靈感商法等で、裁判になり、判決も出ております。反社会的な行動も、ある団体であると、このように認識しております。統一協会とは関係を持たないということをしつかりと、胸に刻んで取り組んでまいりました。そのことについては、記者会見等においても明確に申しております。」とすぐには答えなかったものの、関係を遮断することを言明しました。

しかし、決算年度も含む、建設局の街路樹サポーターの中には、統一協会の関連団体どころか、統一協会そのものである「世界平和統一家庭連合」が登録されていることを暴露し、サポーターの取り消しを求めました。市長は「街路樹のサポーターの団体は、174団体ございます。幅広い人が、街路樹を枯れ葉の掃除も含めてやって頂くという開かれた市政、市民参加の市政として取り組んでまいりました。その中に、旧統一協会の団体が参画していたというのは、率直に言って痛恨の極みでございます。」と述べ、旧統一協会については、京都市政として、京都の行政として、一切関わりを持たないということを先ほども明確にしております。この団体につきまして、除籍、手続きを踏んで、早急に、このサポート団体から、外れてもらうという措置をいたします。」と重い腰をあげました。引き続き、全面的な調査については言明していませんので、各委員会で調査と再発防止を行うよう求めていきます。

### 今回もホームドアの全駅設置について質問

10月13日に開かれた交通局への決算質問で、地下鉄丸線のホームドア全駅設置に向けた質問を行いました。北大路駅から供用が開始されます。質問ではこの北大路駅の詳細スケジュールを聞きましたが、明確な回答はありませんでした。また、点字ブロックの整備についても、これまでと同じように設置することでした。工事中の障害をお持ちの方等へのお知らせを徹底することを求め「工事中は警備員を配置し、安全対策を充分にとる」との回答を得ました。肝心の全駅へのホームドアの設置については、現在休止されています。このことについて、交通局の地下鉄担当者は「事業について一旦凍結したが、全駅設置の方針は決めている。経営状況を見て、いつどこで判断するかを見極めながら、計画をたてる」としました。国補助の増額も含め、ホームドアを付けられるよう求め、ホームドアの全駅設置計画策定を促しました。

### 10月のトピックス



10/19  
京都市立病院の無料送迎バスについて、朱三地域の方々と一緒に要望を申し入れました

10/23  
「民営化を考える」学習会に参加。国の規制緩和の影響を受け、住民の命に関わる事業の民営化が進められているもとで、住民運動が大事だと強調されていました。

